

計測タグの設置と動作確認方法

このマニュアルの対象となる方



ウェブアンテナの計測タグをサイトに設置するご担当の方（HTML に関する知識をある程度お持ちの方を想定）

このマニュアルでわかること



- 計測タグの設置方法や注意点
- コンバージョン属性を計測するための実装例
- 計測タグの動作確認方法
- 正しく動作していない場合に考えられる原因

目次

0. 計測タグ設置の基本	3
このマニュアルについて	4
計測タグ設置の流れ	5
必ず確認していただきたいこと	6
1. 計測タグの種類	7
入口ページタグ	9
コンバージョンタグ	10
イベント計測用タグ	13
2. 計測タグの設置方法	14
計測タグを設置する際の注意点	15
誤った設置方法	18
3. コンバージョン属性の計測方法	20
コンバージョン属性とは	21
コンバージョン属性を計測するための実装例(参考)	22
計測する値に関する注意点	26
4. 計測タグの動作確認方法	28
確認対象となるページの洗い出し	29
ページごとに確認する内容	30
Firefox, Chrome ブラウザでの動作確認手順	33
5. 計測タグが正しく動作しないときは	43
正しく動作していない場合に考えられる原因	44
ご連絡・お問合せ先	48

0. 計測タグ設置の基本

このマニュアルについて

このマニュアルでは、ウェブアンテナの計測タグをサイトの HTML ファイル内に正しく設置する際の注意点や、動作確認方法についてご説明します。

ウェブアンテナとは

ウェブアンテナとは、純広・リスティング・アフィリエイト・メールマガジン・自然検索(SEO)・ソーシャルなどの「Web 上の施策(⇒流入)」と「その結果(⇒コンバージョン)」だけを、シンプルな管理画面で、誰でも簡単に見ることができるツールです。

詳細については、下記サイトをご覧ください。

<http://www.bebit.co.jp/webantenna/>

計測タグとは

計測タグとは、サイトを閲覧したユーザのアクセス情報をウェブアンテナサーバに送信するための短いプログラムです。ウェブアンテナで数値を計測するためには、計測タグをサイトの HTML ファイル内に正しく設置する必要があります。

タグマネージャーをご利用中の場合

「Yahoo!タグマネージャー」や「Google タグマネージャ」などのタグマネージャーを利用して計測タグを設置される場合は、このマニュアルの対象外となります。

サイトの構成やタグの種類によってはご留意いただきたい点がございしますので、タグマネージャーをご利用の場合にはビービットまでご連絡ください。

計測タグ設置の流れ

計測タグ設置の流れは、大きく分けて、以下の 3 ステップとなります。

① 計測タグをページの HTML 内に設置する

- ・ 「2. 計測タグの設置方法」(p.14)に従い、適切な種類の計測タグを正しいページに設置します。

② お客様にて、計測のための処理をサイトに追加実装する(必要な場合)

- ・ **コンバージョン属性**を計測する場合、計測タグに値を動的に埋め込む処理の実装が必要です。詳細は「3. コンバージョン属性の計測方法」(p.20)を参照してください。
- ・ **ボタンクリックや動画再生などのイベント**を計測する場合、イベントが発生した時点で計測用の関数を呼び出す処理を追加実装する必要があります。イベントの計測については「イベント計測用タグ」(p.13)を参照してください。

③ お客様にて、計測タグの動作確認を行う

- ・ 計測タグが正しく設置されているか、貴社でご確認ください。
- ・ 動作確認方法については、「4. 計測タグの動作確認方法」(p.28)を参照してください。
- ・ 計測タグが正しく動作しない原因や対処方法については、「5. 計測タグが正しく動作しないときは」(p.43)を参照してください。

必ず確認していただきたいこと

計測タグの設置にあたり、下記の項目は必ずご確認ください。

- ① 計測タグは<body>～</body>の間に設置してください(p.15)
- ② XHTML ページの場合、計測タグ中の<noscript>～</noscript>部分を削除して設置してください(p.16)
- ③ 1 つのページに複数の計測タグを設置する場合、計測タグの種類に注意してください(p.17)
- ④ 計測タグを改変して設置しないでください(p.18)
- ⑤ 設置した計測タグが動作するか確認してください(p.28)

1. 計測タグの種類

計測タグの種類

ウェブアンテナの計測タグには、以下の 3 種類があります。

- ・ 入口ページタグ (p.9)
- ・ コンバージョンタグ (p.10)
- ・ イベント計測用タグ (p.13)

それぞれの計測タグは、以下の点が異なります。

- ・ 計測情報を送信するタイミング
 - Web ページの読み込みが完了したタイミングで計測されるものと、対象となるイベント(クリックなど)が発生したタイミングで計測されるものがあります。
- ・ 流入の計測が可能か
 - URL に含まれる計測用パラメータやリファラ(参照元)情報により、広告・検索エンジン・その他のサイトなど、ユーザがどこから流入したかを計測することが可能です。
- ・ コンバージョンの計測が可能か
 - サイト上でのコンバージョン発生を計測することが可能です。

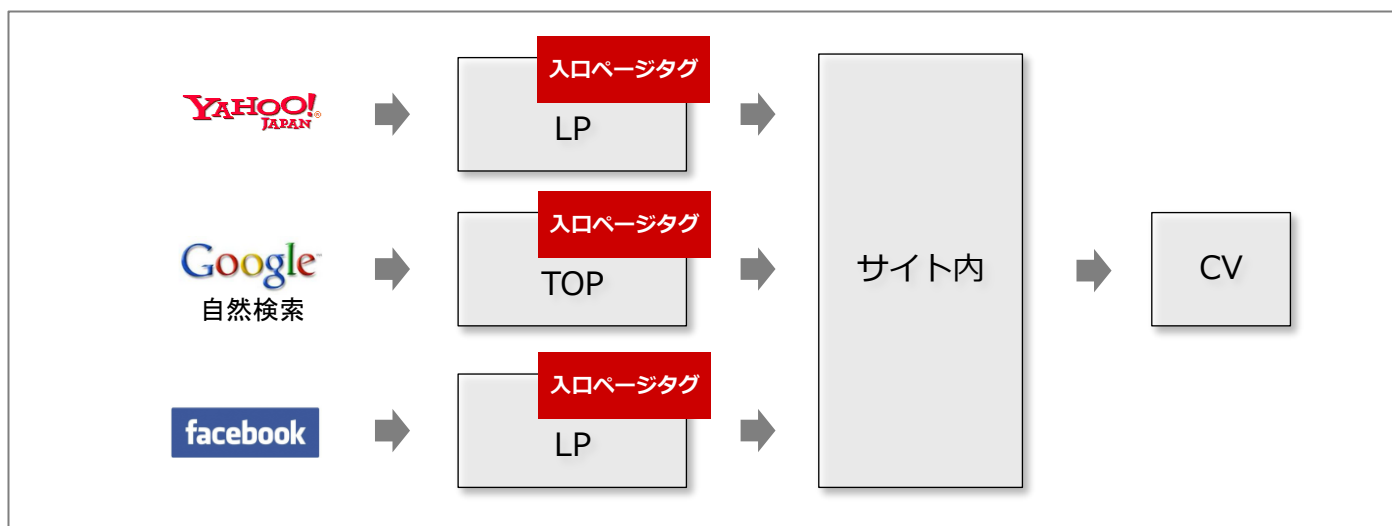
各計測タグの特徴をまとめると、以下のようになります。

計測タグの種類	計測のタイミング	流入の計測	コンバージョンの計測
入口ページタグ	ページの読み込みが完了したとき	○	×
コンバージョンタグ	ページの読み込みが完了したとき	○	○
イベント計測用タグ	対象となるイベント(クリックなど)が発生したとき	×	○

以降では、これらの計測タグの詳細についてご説明します。

入口ページタグ

入口ページタグは、ユーザがサイトを訪れる際の入口となる主要なページに設置します。



入口ページタグを設置すると、URL に含まれる計測用パラメータやリファラ (参照元) 情報により、ユーザがどこから流入したかを識別することが可能になります。

入口ページタグの見分け方

入口ページタグは以下のような形式になっています。

```

<!-- WebAntenna -->
<script type="text/javascript" src="//tr.webantenna.info/js/webantenna.js"></script>
<script type="text/javascript">
if ( typeof( webantenna ) == 'function' ) {
_wa.account = 'WA****-1';
webantenna();
}
</script>
<noscript>

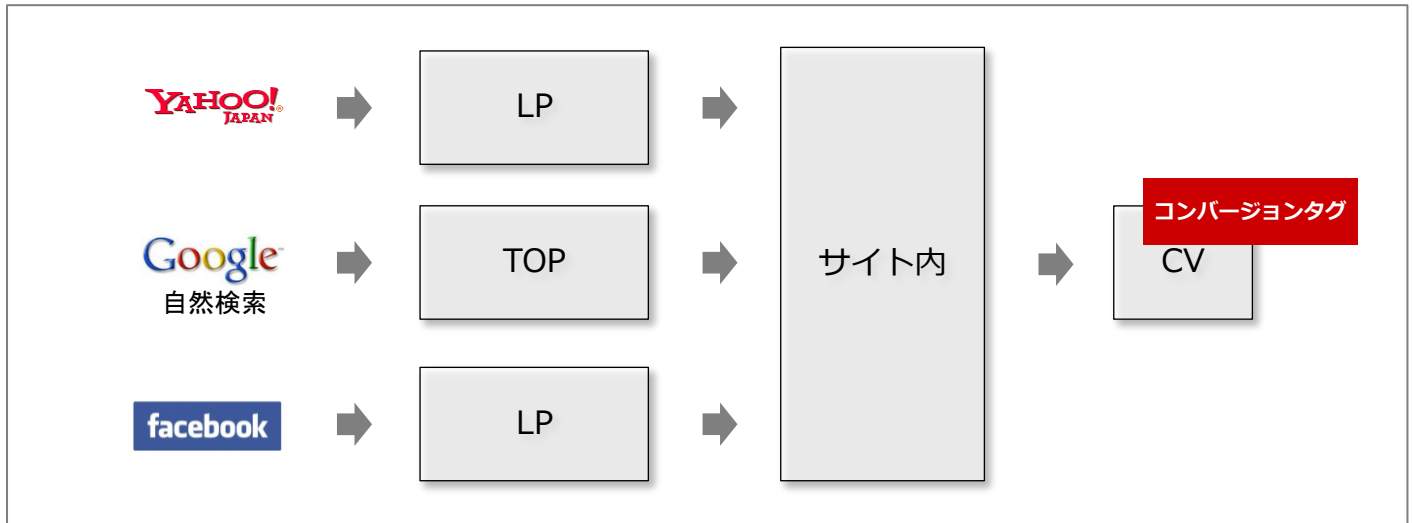
</noscript>
<!-- end WebAntenna -->
  
```

← コンバージョンパラメータ (_wa.cv) や
コンバージョン属性 (_wa.parameters) の記述がない

※本タグはサンプルです。実際のサイトには設置しないでください。

コンバージョンタグ

コンバージョンタグは、サイト上でコンバージョンが発生するページに設置します。たとえば、EC サイトなら商品購入完了ページなどが該当します。



コンバージョンタグの見分け方

コンバージョンタグは以下のような形式になっています。

```

<!-- WebAntenna -->
<script type="text/javascript" src="//tr.webantenna.info/js/webantenna.js"></script>
<script type="text/javascript">
if ( typeof( webantenna ) == 'function' ) {
  _wa.account = 'WA***-1';
  _wa.cv = 'thankyou';           ← ①コンバージョンパラメータ
  _wa.parameters[ 'price' ] = 'ここに動的に価格を埋め込む';
  _wa.parameters[ 'user_id' ] = 'ここに動的にユーザ ID を埋め込む';
  webantenna();
}
</script>
<noscript>

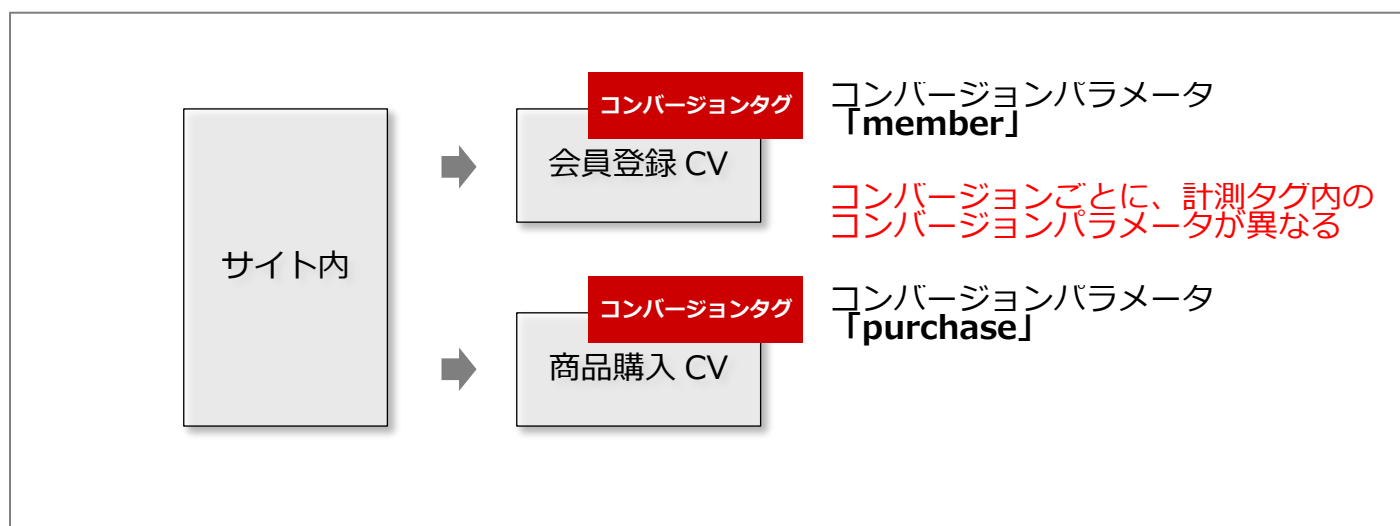
</noscript>
<!-- end WebAntenna -->
  
```

②コンバージョン属性
(取得する項目数に応じて増減)

※本タグはサンプルです。実際のサイトには設置しないでください。

コンバージョンパラメータについて

コンバージョンパラメータは、コンバージョンの種類を表す文字列です。サイト上で複数の異なるコンバージョンを計測する場合、それぞれ異なるコンバージョンパラメータを付ける必要があります。



コンバージョンパラメータは、ウェブアンテナ管理画面の「コンバージョン設定」にて設定します。コンバージョン設定の内容と異なるコンバージョンパラメータをコンバージョンタグに使うことはできません。誤ったコンバージョンパラメータを使用した場合はコンバージョンが計測されませんのでご注意ください。

コンバージョン属性について（※有料オプション）

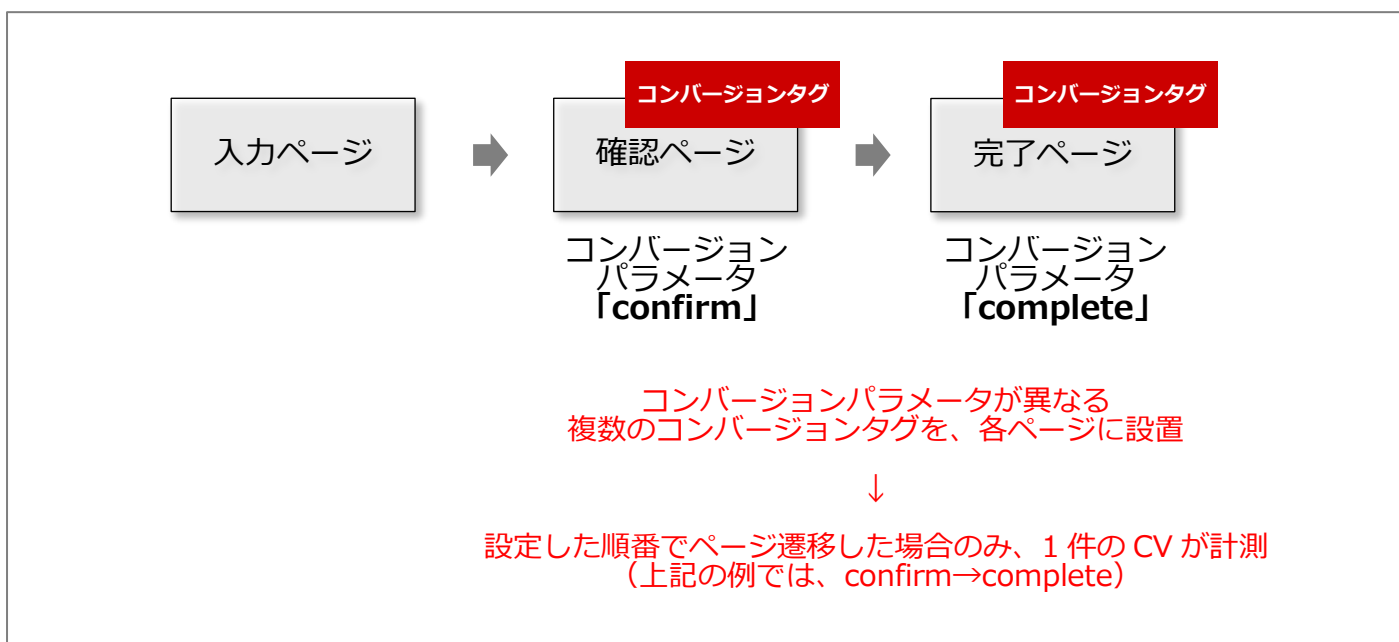
コンバージョンタグ内に、JavaScript や PHP などのプログラムによって動的に値を埋め込むことで、そのコンバージョンに関する追加の情報（コンバージョン属性）をウェブアンテナサーバに送信することができます。

詳しくは、「3. コンバージョン属性の計測方法」(p.20)を参照してください。

ルート設定について（参考）

複数ページを特定の順序で閲覧したことを1回のコンバージョンとして計測する設定（ルート設定）ができます。

よくある例としては、**確認ページ→完了ページ**という順序での閲覧を1回のコンバージョンと計測するように設定するものです。この例では、ユーザがブラウザの「戻る」ボタンで完了ページに戻ってくるようなことがあっても、コンバージョンが重複して計測されることがなくなり、より正確なコンバージョン数を計測することが可能となります。



ルート設定を行う場合、各コンバージョンタグをそれぞれ正しいページに設置してください。誤って、「確認ページにコンバージョンタグを設置し忘れる」「確認ページと完了ページの両方に、同じコンバージョンタグを設置してしまう」などとしてしまうと、コンバージョンが計測されませんので注意してください。

イベント計測用タグ

イベント計測用タグも、コンバージョンタグと同様、コンバージョンを計測するための計測タグです。**JavaScript** の関数として呼び出す形式となっているため、ボタンのクリック・動画再生・電話など、計測したいイベントが発生したタイミングでコンバージョンを計測することができます。

イベント計測用タグの見分け方

イベント計測用タグは以下のような形式となっています。

```
<!-- WebAntenna -->
<script type="text/javascript" src="//tr.webantenna.info/js/webantenna.js"></script>
<script type="text/javascript">
function wa_measure() { ← ①JavaScript の関数であるため、任意のタイミングで呼び出し可能
  if ( typeof( webantenna ) == 'function' ) {
    _wa = new WA_Processor();
    _wa.account = 'WA****-1';
    _wa.cv = 'thankyou';
    _wa.parameters[ 'price' ] = 'ここに動的に価格を埋め込む';
    _wa.parameters[ 'user_id' ] = 'ここに動的にユーザ ID を埋め込む';
    webantenna( true );
    var wait = function( msec ) {
      var s = ( new Date() ).getTime();
      while ( ( new Date() ).getTime() - s < msec );
    }
    wait( 100 );
  }
}
</script>
<!-- end WebAntenna -->
```

②コンバージョンパラメータや属性はコンバージョンタグと同様

※本タグはサンプルです。実際のサイトには設置しないでください。

イベント計測用タグを設置する際の注意点

イベント計測用タグを利用するには、JavaScript 関数(上記の例では **wa_measure()** 関数)を呼び出す処理をお客様にてサイトに追加実装する必要があります。また、計測したいイベントの種類やサイトの構成によって、実装方法が異なります。

イベント計測用タグを設置する際の注意点については、ビービットまでお問合せください。

2. 計測タグの設置方法

計測タグを設置する際の注意点

計測タグを設置する場合、以下の点にご注意ください。

- ① `<body>~</body>`の間に設置してください(p.15)
- ② XHTML ページの場合、`<noscript>`部分を削除してください(p.16)
- ③ 1つのページに複数の計測タグを設置する場合、計測タグの種類に注意してください(p.17)

`<body>~</body>`の間に設置してください

計測タグは`<body>~</body>`の間に設置してください。`<head>~</head>`などの異なる場所に設置すると、ページの表示が崩れたり、計測に不具合が生じたりする可能性があります。

また、可能であれば、`</body>`の直前に設置することを推奨します。

```
<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01 Transitional//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/loose.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<title>広告効果測定ツール「ウェブアンテナ(WebAntenna)」</title>
</head>
<body>
```

・・・ページ内のコンテンツ・・・

```
<!-- WebAntenna -->
<script type="text/javascript" src="//tr.webantenna.info/js/webantenna.js"></script>
<script type="text/javascript">
if ( typeof( webantenna ) == 'function' ) {
_wa.account = 'WA****-1';
webantenna();
}
</script>
<noscript>

</noscript>
<!-- end WebAntenna -->
```

`</body>`の直前への設置を推奨

```
</body>
</html>
```

XHTML ページの場合、<noscript>部分を削除してください

計測タグを設置するページが XHTML で記述されている場合、計測タグ内の<noscript>～</noscript>部分を削除して設置してください。

```
<!-- WebAntenna -->
<script type="text/javascript" src="//tr.webantenna.info/js/webantenna.js"></script>
<script type="text/javascript">
if ( typeof( webantenna ) == 'function' ) {
  _wa.account = 'WA****-1';
  webantenna();
}
</script>
<noscript>

</noscript>
<!-- end WebAntenna -->
```

XHTML ページの場合、
<noscript>～</noscript>部分を削除します。

削除

※本タグはサンプルです。実際のサイトには設置しないでください。

<noscript>～</noscript>部分を残したままにすると、誤ったデータが計測される場合があります。

1 つのページに複数の計測タグを設置する場合、計測タグの種類に注意してください

原則として、1 つのページには 1 つの計測タグのみを設置してください。

ユーザが外部から流入するページに複数の計測タグを設置すると、設置する計測タグの組合せによっては、1 回の流入が重複して計測されてしまう場合があります。

設置可能な計測タグの組合せは以下のとおりです。

計測タグの組合せ	設置の可否
「入口ページタグ」と「入口ページタグ」	△流入が重複する。ただし、以下のいずれかに該当する場合を除く ✓ ユーザが外部から流入しないページの場合 ✓ 計測タグ内の <code>_wa.account = '●●●●'</code> ；の部分異なる場合
「コンバージョンタグ」と「入口ページタグ」	
「コンバージョンタグ」と「コンバージョンタグ」	
「イベント計測用タグ」と「入口ページタグ」	○問題なく設置可能
「イベント計測用タグ」と「コンバージョンタグ」	
「イベント計測用タグ」と「イベント計測用タグ」	

特に、テンプレートを利用し、入口ページタグを全ページ一括で設置している場合にこういった状況が発生しやすくなりますので、ご注意ください。

なお、本マニュアルはタグマネージャーを利用せずに計測タグを設置する場合を対象としています。

タグマネージャーをご利用の場合、1 つのページに複数の計測タグが配信されてしまうと、上記の場合以外でも正しく計測されない場合がありますので、ご注意ください。

誤った設置方法

計測タグを設置する際、以下のようなことをすると正しく動作しなくなる場合があります。ご注意ください。

- ① 計測タグを改変して設置してしまう(p.18)
- ② webantenna.js の読み込みを省略したり、共通化したりしてしまう(p.19)
- ③ webantenna.js をコピーし、サーバ上に設置してしまう(p.19)

計測タグを改変して設置してしまう

ウェブアンテナの計測タグは、現在および将来にわたって主要なブラウザやサイトとの互換性が保たれるよう、細心の注意を払って設計・テストされています。計測タグを改変して設置してしまうと、Web ページの表示が崩れたり、正しく計測できなくなる可能性があります。

たとえば、以下のような改変を行わないようご注意ください。

- ・ HTML 内に設置せず、外部の JavaScript ファイル内に設置する
- ・ 計測タグの一部を省略する
- ・ 計測タグ内の改行や空白を変更する
- ・ お客様が実装した JavaScript から、webantenna.js 内の関数を直接呼び出す

ただし、お使いのシステムやサイトの構成上、計測タグを改変して設置しなければならない事情がある場合は、ビービットまでご相談ください。

なお、本マニュアルでご案内している、以下の修正は例外となります。

- ・ XHTML で記述されたページの場合に、<noscript>～</noscript>部分を削除する(p.16)
- ・ コンバージョン属性を取得するために、値を動的に埋め込む(p.20)

webantenna.js の読み込みを省略したり、共通化したりしてしまう

1 つのページに複数の計測タグを設置する場合、以下の部分を省略したり、共通化したりせず、計測タグごとに記述してください。

```
<script type="text/javascript" src="//tr.webantenna.info/js/webantenna.js"></script>
```

webantenna.js が読み込まれる際、計測タグごとに必要な初期化処理が行われるためです。省略してしまうと、正しく計測が行われなくなってしまう。

webantenna.js をコピーし、サーバ上に設置してしまう

計測タグ内で読み込まれている **webantenna.js** ファイルをコピーし、サーバ上に直接設置することは避けてください。

webantenna.js ファイルは、以下の目的で不定期に更新される場合があるため、必ずウェブアンテナサーバから配信される必要があります。

- ・ ブラウザがバージョンアップされた場合にも互換性を保つ
- ・ 計測精度を向上する

サイト上に直接設置してしまうと、webantenna.js が更新されなくなるため、上記の変更に対応できないばかりか、将来、サイトの表示や計測に不具合が生じる可能性があります。

3. コンバージョン属性の計測方法

コンバージョン属性とは

コンバージョン属性とは、コンバージョンに紐づく付加情報のことです。サイト側で、これらの値をコンバージョンタグやイベント計測タグに動的に埋め込むことによって、コンバージョン属性をウェブアンテナで計測することが可能です。

サイトによって異なりますが、例として、以下のような情報を計測できます。

- ・ ユーザがフォームに入力した情報（※個人情報を除く）
 - ・ 購入した商品の商品名・金額・個数
 - ・ 基幹 DB 上の注文 ID
- など

本章では、コンバージョン属性を計測タグに埋め込む方法と、その注意点についてご説明します。

なお、コンバージョン属性は有料オプション機能となります。利用の可否については、ウェブアンテナの契約状況をご確認ください。

コンバージョン属性を計測するための実装例（参考）

コンバージョン属性を計測するには、コンバージョンタグ・イベント計測用タグの以下の部分に、プログラムにより動的に埋め込みを行ってください。

```
<!-- WebAntenna -->
<script type="text/javascript" src="//tr.webantenna.info/js/webantenna.js"></script>
<script type="text/javascript">
if ( typeof( webantenna ) == 'function' ) {
  _wa.account = 'WA***-1';
  _wa.cv = 'thankyou';
  _wa.parameters[ 'price' ] = 'ここに動的に価格を埋め込む';
  _wa.parameters[ 'user_id' ] = 'ここに動的にユーザ ID を埋め込む';
  webantenna();
}
</script>
<noscript>

</noscript>
<!-- end WebAntenna -->
```

※本タグはサンプルです。実際のサイトには設置しないでください。

埋め込み方は貴社でお使いのプログラミング言語や開発環境によって大きく異なります。ビービットでは実装の詳細に関するご質問には回答いたしかねますので、ご了承ください。

ただし、実装のイメージをつかんでいただくため、プログラム例を以降でご紹介します。

- ・ サーバ側のプログラム(PHP)で埋め込みを行う例(p.23)
- ・ ブラウザ側のプログラム(JavaScript)で埋め込みを行う例(p.24)

サーバ側のプログラム（PHP）で埋め込みを行う例

サーバ側のプログラムでコンバージョン属性を埋め込む場合、HTML の出力時に、計測タグ内の「動的に●●を埋め込む」の部分でコンバージョン属性の値で置き換えるようにします。

一例として、お客様のサイトが以下の構成になっている場合を考えます。

- ・ サーバ側のプログラムが PHP で記述されている
- ・ \$user オブジェクトにコンバージョンしたユーザの情報が入っている

このようなシステムの場合、次のような書き換え方が考えられます。

```
<!-- WebAntenna -->
<script type="text/javascript" src="//tr.webantenna.info/js/webantenna.js"></script>
<script type="text/javascript">
if ( typeof( webantenna ) == 'function' ) {
  _wa.account = 'WA****-1';
  _wa.cv = 'thankyou';
  _wa.parameters[ 'price' ] = '<?php echo $user->getPrice(); ?>';
  _wa.parameters[ 'user_id' ] = '<?php echo $user->getUserID(); ?>';
  webantenna();
}
</script>
<noscript>

</noscript>
<!-- end WebAntenna -->
```

「動的に●●を埋め込む」の部分を書き換えます。
(シングルクォートの内側だけを置き換えてください)

※本タグはサンプルです。実際のサイトには設置しないでください。

※上記はあくまで一例です。実際のサイトで、このように書くと値が取得できることを保証するものではありません。

なお、日本語などのマルチバイト文字を計測する場合、文字化けを防ぐため、出力する値は HTML と同じ文字コード(例:UTF-8, Shift_JIS, EUC)に合わせてください。

ブラウザ側のプログラム（JavaScript）で埋め込みを行う例

次に、ブラウザ側のプログラム（JavaScript）でコンバージョン属性を埋め込む例をご紹介します。

一例として、お客様のサイトが以下の構成になっている場合を考えます。

- ・ EC システムを利用している
- ・ そのシステムの特許記法（%%PRICE%%, %%USERID%%など）を利用することでコンバージョンしたユーザの情報が HTML に自動的に埋め込まれる

このようなシステムの場合、次のような書き換え方が考えられます。

```
<script type="text/javascript">
var waPrice = %%PRICE%%;
var waUserID = %%USERID%%;
</script>
```

①計測する値をあらかじめ変数に格納します

```
<!-- WebAntenna -->
<script type="text/javascript" src="//tr.webantenna.info/js/webantenna.js"></script>
<script type="text/javascript">
if ( typeof( webantenna ) == 'function' ) {
_wa.account = 'WA****-1';
_wa.cv = 'thankyou';
_wa.parameters[ 'price' ] = waPrice;
_wa.parameters[ 'user_id' ] = waUserID;
webantenna();
}
</script>
<noscript>

</noscript>
<!-- end WebAntenna -->
```

②計測タグ内に上記の変数を記述します

※本タグはサンプルです。実際のサイトには設置しないでください。

※上記はあくまで一例です。実際のサイトで、このように書くと値が取得できることを保証するものではありません。

コンバージョン属性を計測するための実装例（参考）

なお、計測タグ内に、必要以上に複雑な処理を記述することは避けてください。正しく計測タグが動作していない場合に、原因となる箇所を特定することが難しくなるためです。

前掲の例のように、計測タグ内の修正は最低限に留めることを推奨します。

```
<!-- WebAntenna -->
<script type="text/javascript" src="//tr.webantenna.info/js/webantenna.js"></script>
<script type="text/javascript">
if ( typeof( webantenna ) == 'function' ) {
  _wa.account = 'WA***-1';
  _wa.cv = 'thankyou';
  var waPrice = Math.floor(price * 1.08);
  var waUserID;
  if (userTypeCode == 1) {
    waUserID = 'nc' + userID;
  }
  else if (userTypeCode == 2) {
    waUserID = 'rp' + userID;
  }
  else {
    waUserID = 'un' + userID;
  }
  _wa.parameters[ 'price' ] = waPrice;
  _wa.parameters[ 'user_id' ] = waUserID;
  webantenna();
}
</script>
<noscript>

</noscript>
<!-- end WebAntenna -->
```

【良くない例】

計測タグ内に複雑な処理を記述している

※本タグはサンプルです。実際のサイトには設置しないでください。

※上記はあくまで一例です。実際のサイトで、このように書くと値が取得できることを保証するものではありません。

計測する値に関する注意点

コンバージョン属性を計測する際は、次の点にご注意ください。

- 1つの項目につき、最大 60 文字まで計測可能です。60 文字を超える場合は切り捨ててください。
- 日本語などのマルチバイト文字は、全項目合計で 30 文字まで計測可能です(下記参照)。
- コンバージョン属性の値が存在しない場合は、空文字列をセットしてください。
- 氏名・電話番号・メールアドレスなど、個人情報に該当するものは取得しないでください。

日本語などのマルチバイト文字を計測する場合の注意点

日本語などのマルチバイト文字を計測する場合、全項目合計で 30 文字以内に収まるようにしてください。30 文字を超えると、一部のブラウザでコンバージョン自体が計測できなくなる場合があります。

30 文字を超える場合は、以下のような対応を行ってください。

- 30 文字を超える部分を切り捨てる
- 日本語を英数字に置き換えて計測する

【対応例】

```
_wa.parameters[ 'category' ] = 'ホーム/商品情報/場面から探す/キッチン/水回り';  
_wa.parameters[ 'item_name' ] = '洗剤なしでも汚れが落ちるスポンジ_large_black';
```

 } 合計 36 文字(NG)

日本語を英数字に置き換え、不要部を省略

```
_wa.parameters[ 'category' ] = '場面から探す/キッチン/水回り';  
_wa.parameters[ 'item_name' ] = 'prod00123_large_black';
```

 } 合計 13 文字(OK)

1 つの項目で複数の値を計測する場合の注意点

1 つの項目で複数の値を計測する場合、「|」(パイプ)などの区切り文字で分割してください。

【例】商品コードが「a00001」「a00002」「a00003」という 3 商品を購入したユーザのコンバージョン属性を計測する場合

```
_wa.parameters[ 'item_code' ] = 'a00001|a00002|a00003';
```

なお、区切り文字として「,」(カンマ)は使わないでください。計測したコンバージョン属性をウェブアンテナの管理画面から CSV ファイルとして出力する際、ソフトウェアによっては正しく扱えない場合があります。

たとえば、「123」「456」「789」という複数の数値を「123,456,789」のようにカンマ区切りで計測してしまうと、Excel では「123456789」という 1 つの数値として認識されてしまいます。

4. 計測タグの動作確認方法

計測タグの動作確認

計測タグを設置したら、まず貴社にて正しく動作するかをご確認ください。

ブラウザの開発者ツールを使うことで、計測タグが正しく設置できたかどうか簡易的に動作確認することが可能です。

対象サイトに計測タグを設置した後、必ず動作確認を行っていただくようお願いいたします。

確認対象となるページの洗い出し

基本的には、計測タグを設置したページ全てについて、動作確認を行うことを推奨します。

ただし、テンプレートなどを使って大量のページに計測タグを設置している場合は現実的ではありませんので、以下のような主要なページを中心に動作確認を行うようにしてください。

- ・ ユーザが流入する際の主要な入口となるページ
⇒TOP ページ、広告の LP など
- ・ コンバージョンページ

また、PC 向け・スマートフォン向けが異なるサイトでは、それぞれについて動作確認を行うことを推奨します。

ページごとに確認する内容

計測タグが正常に動作すると、**_webantenna.png** という画像ファイルが Web ページ内に裏で読み込まれます。このファイルが正しいタイミング・内容で読み込まれているかどうかを確認します。

確認するポイントは以下のとおりです。

- ① 動作した計測タグと **_webantenna.png** の個数は一致しているか (p.30)
- ② 正しいタイミングで **_webantenna.png** が読み込まれているか (p.30)
- ③ **_webantenna.png** のパラメータは正しいか (p.31)
- ④ コンバージョン属性として埋め込む値によって、計測タグが動作しない場合がないか (p.32)

動作した計測タグと **_webantenna.png** の個数は一致しているか

動作した計測タグ 1 つにつき、1 つの **_webantenna.png** が読み込まれます。読み込まれた **_webantenna.png** の個数が想定通りか確認してください。

正しいタイミングで **_webantenna.png** が読み込まれているか

_webantenna.png が読み込まれるタイミングは、以下のように計測タグの種類によって異なります。正しいタイミングで読み込まれていることを確認してください。

計測タグの種類	_webantenna.png が読み込まれるタイミング
入口ページタグ	ページの読み込みが完了したとき
コンバージョンタグ	ページの読み込みが完了したとき
イベント計測用タグ	対象となるイベント(ボタンクリックや動画再生など)が発生したとき

_webantenna.png のパラメータは正しいか

計測タグの種類や取得する情報に応じて、_webantenna.png のパラメータ (?以降の部分) が異なります。

```
_webantenna.png?ga=WA****-1&cv=thankyou&r=http%3A%2F%2Fwww.yahoo.co.jp%2F&u=http%3A%2F%2Fwww.bebit.co.jp%2F%3Fprop01%3D2048%26prop02%3DPDF%25E8%25B3%2587%25E6%2596%2599&jse=1&ce=1...
```

設置した計測タグに誤りがないか、計測タグ上の ga, cv, u パラメータの内容を以下のとおり確認してください。

計測タグの種類	ga パラメータの値	cv パラメータの値	u パラメータの値
入口ページタグ		確認不要	
コンバージョンタグ	_wa. account = ' ●●●●● ' ; の ●●●●● の部分	_wa. cv = ' ●●●●● ' ; の ●●●●● の部分	※下記参照
イベント計測用タグ			

u パラメータの値の確認方法

コンバージョンタグ・イベント計測用タグにコンバージョン属性を埋め込んでいる場合、埋め込まれた値が u パラメータの一部として出力されます。u パラメータの値は、下記の例のように 2 回 URL エンコードされています。

```
http%3A%2F%2Fwww.bebit.co.jp%2F%3Fprop01%3D2048%26prop02%3DPDF%25E8%25B3%2587%25E6%2596%2599
```

この値をオンライン上の Web ツール等を用いて 2 回デコードし、元の文字列へ復元してください。本例の場合、デコードを行うと以下の値が復元されます。

```
http://www.bebit.co.jp/?prop01=2048&prop02=PDF 資料
```

復元された値は URL 形式になっており、パラメータ部分にはコンバージョン属性の値が key=value の形で格納されています(青字および赤字部分)。計測タグに埋め込んだ値(下記参照)が、上記の形で全てはき出されていることを確認してください。

```
_wa.parameters[ 'prop01' ] = '2048';  
_wa.parameters[ 'prop02' ] = 'PDF 資料';
```

コンバージョン属性として埋め込む値によって、計測タグが動作しない場合がないか

コンバージョン属性(p.20)を計測している場合、埋め込む値によって計測タグが動かない場合がないか確認してください。

特に、以下のような場合にご注意ください。

- ・ 値が空になる場合
- ・ 値の中に特殊な記号(例:シングルクォート)が含まれる場合
- ・ その他、プログラム上で何らかの条件分岐を行っている場合

Firefox, Chrome ブラウザでの動作確認手順

参考として、Windows 版 Firefox および Chrome ブラウザを使った計測タグの動作確認方法を説明します。どちらのブラウザでも確認が行えますので、慣れている方をお使いください。

なお、以下で説明する手順は、本マニュアル作成時点の最新版 Firefox, Chrome ブラウザの仕様に基づくものです。その後のバージョンアップにより、画面や機能が変更となる可能性がありますのでご了承ください。

また、各ブラウザの詳しい使い方や不具合について、ビービットは回答いたしかねます。それらにつきましては、公式のサポート情報をご確認ください。

サポート情報	URL
Firefox ヘルプ	https://support.mozilla.org/ja/products/firefox
Chrome ヘルプ	https://support.google.com/chrome/

Firefox での動作確認手順

Firefox での動作確認の流れは以下のようになります。

① 開発ツールを表示

- ✓ Firefox を起動
- ✓ 「開発ツール」を表示
- ✓ 「ネットワーク」タブを選択



② 対象の URL を開く

- ✓ 計測タグを設置したページを開く
- ✓ ページが完全に読み込まれるのを待つ
- ✓ 計測対象のイベントを発生させる



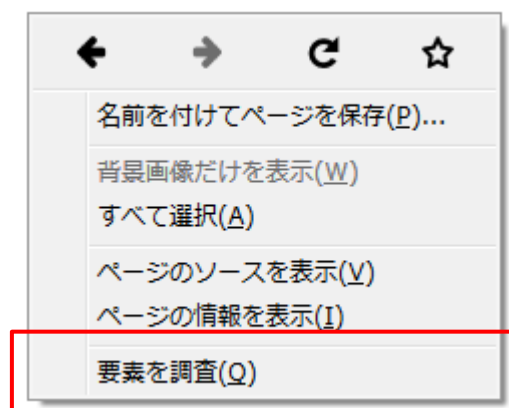
③ webantenna.png の読み込みを確認

- ✓ 動作した計測タグと同数読み込まれていること
- ✓ パラメータが正しいこと

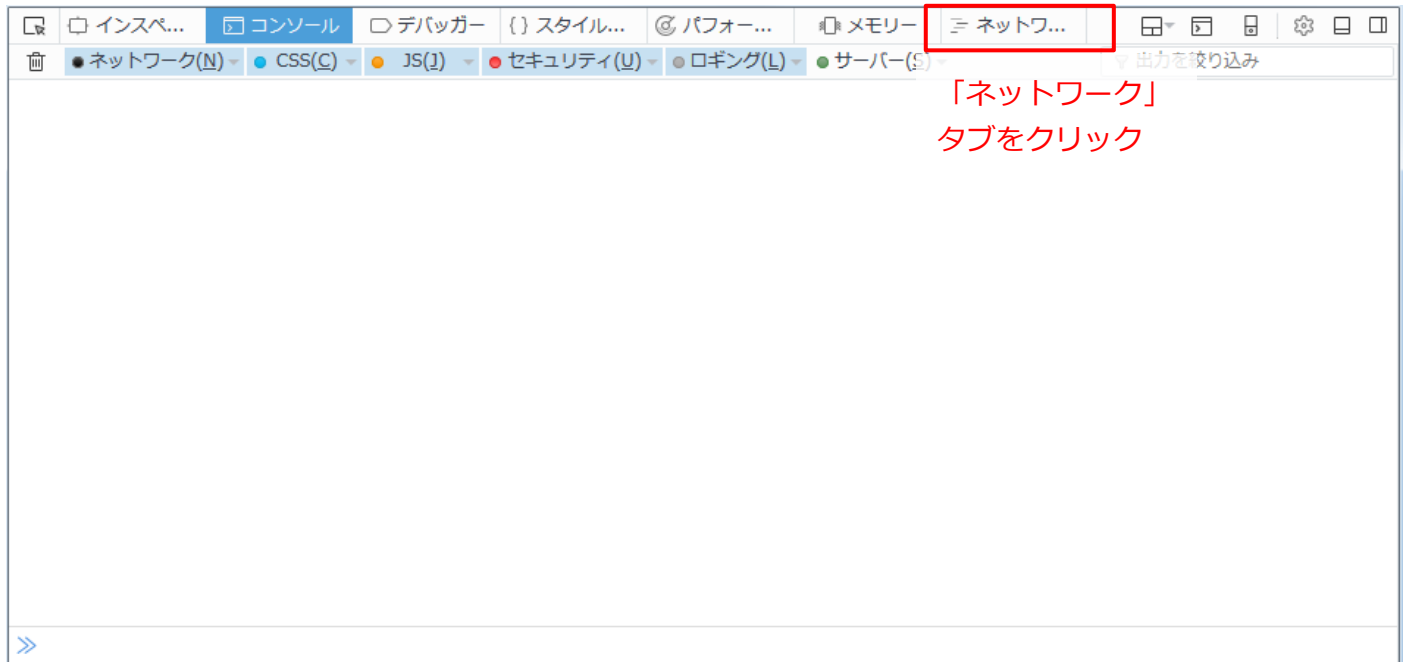
➤ ① 「開発ツール」を表示

以下の手順で「開発ツール」を表示します。

1. Firefox を起動
2. ウィンドウ内の任意の場所を右クリック
3. 「要素を調査(Q)」を選択



以下の「開発ツール」が表示されたら、「ネットワーク」タブをクリックします。



➤ ②対象の URL を開く

次に、計測タグを設置したページを開きます。この時、「ネットワーク」タブ内に、読み込まれた HTML・CSS・JavaScript・画像ファイルなどの一覧が表示されていきます。

そのまま、ページが完全に読み込まれるのを待ちます。入口ページタグまたはコンバージョンタグが正しく設置されていると、この時点で `_webantenna.png` が読み込まれます。

次に、イベント計測用タグを設置している場合、ボタンのクリックや動画再生など、計測対象となるイベントを発生させます。イベント処理が正しく実装されていると、イベントが起こった時点で `_webantenna.png` が読み込まれます。

Firefox, Chrome ブラウザでの動作確認手順

➤ ③ _webantenna.png の読み込みを確認

「ネットワーク」タブ内に「_webantenna.png」という画像ファイルが、動作した計測タグと同じ個数読み込まれていることを確認してください。

ステータス	メソッド	ファイル	ドメイン	発生源	タイプ	転送量	サイズ
● 200	GET	1 s10_ico...			png	227 バイト	227 バイト
● 200	GET	2 s10_ico...			png	352 バイト	352 バイト
● 200	GET	3 s10_iconNum03.png	bebit.co.jp	img	png	360 バイト	360 バイト
● 200	GET	iconArrowSm.png	bebit.co.jp	img	png	222 バイト	222 バイト
● 200	GET	footer_ic01.gif	bebit.co.jp	img	gif	44 バイト	44 バイト
● 200	GET	/tr/?id=1060166627343593...	www.facebook...	img	gif	44 バイト	44 バイト
● 200	GET	_webantenna.png?ga=WAx...				68 バイト	68 バイト
○ 200	GET	webantenna.js	tr.webantenna.i...	script	js	キャッシュ	14.44 KB
● 200	POST	page	www.fullstory.c...	xhr	json	288 バイト	862 バイト
● 200	GET	pta.js	js.ptengine.jp	script	js	1.15 KB	1.15 KB
○ 200	GET	usergram.js	code.usergram....	script	js	キャッシュ	12.70 KB
● 200	GET	pts.js	js.ptengine.jp	script	js	—	0 バイト
● 200	GET	bl_track.js	d-cache.microa...	script	js	3.56 KB	3.56 KB
● 200	GET	/search/?p=NUC43MASS2&labe...	b92.yahoo.co.jp	script	js	26 バイト	0 バイト

※「画像」ボタンをクリックすると、ページ内に読み込まれている画像ファイルのみ絞り込んで表示できます。

webantenna.png が、動作した計測タグと同数読み込まれていることを確認します。

次に、_webantenna.png ファイルのパラメータ(?以降の部分)が正しいかを確認します。パラメータは以下の手順で確認することができます。

②「パラメーター」タブをクリック

①確認したい webantenna.png ファイルをクリック

③クエリ文字列のうち、「ga」「cv」「u」パラメータの値を確認
※cv パラメータはコンバージョンタグのみ出現します

前述の「_webantenna.png のパラメータは正しいか」(p.31)を参照し、正しいパラメータが取得されているか確認してください。

Chrome での動作確認手順

Chrome での動作確認の流れも、Firefox と同様です。

①デベロッパーツールを表示

- ✓ Chrome を起動
- ✓ 「デベロッパーツール」を表示
- ✓ 「Network」タブを選択



②対象の URL を開く

- ✓ 計測タグを設置したページを開く
- ✓ ページが完全に読み込まれるのを待つ
- ✓ 計測対象のイベントを発生させる



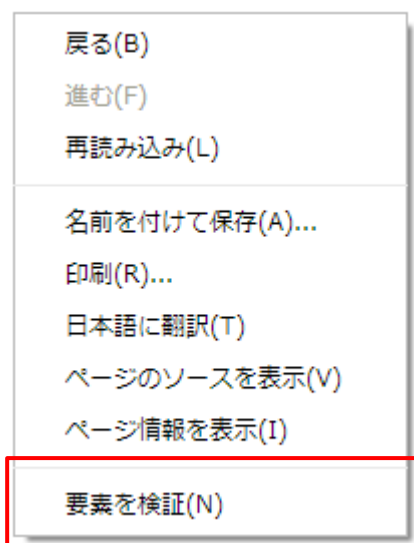
③ webantenna.png の読み込みを確認

- ✓ 動作した計測タグと同数読み込まれていること
- ✓ パラメータが正しいこと

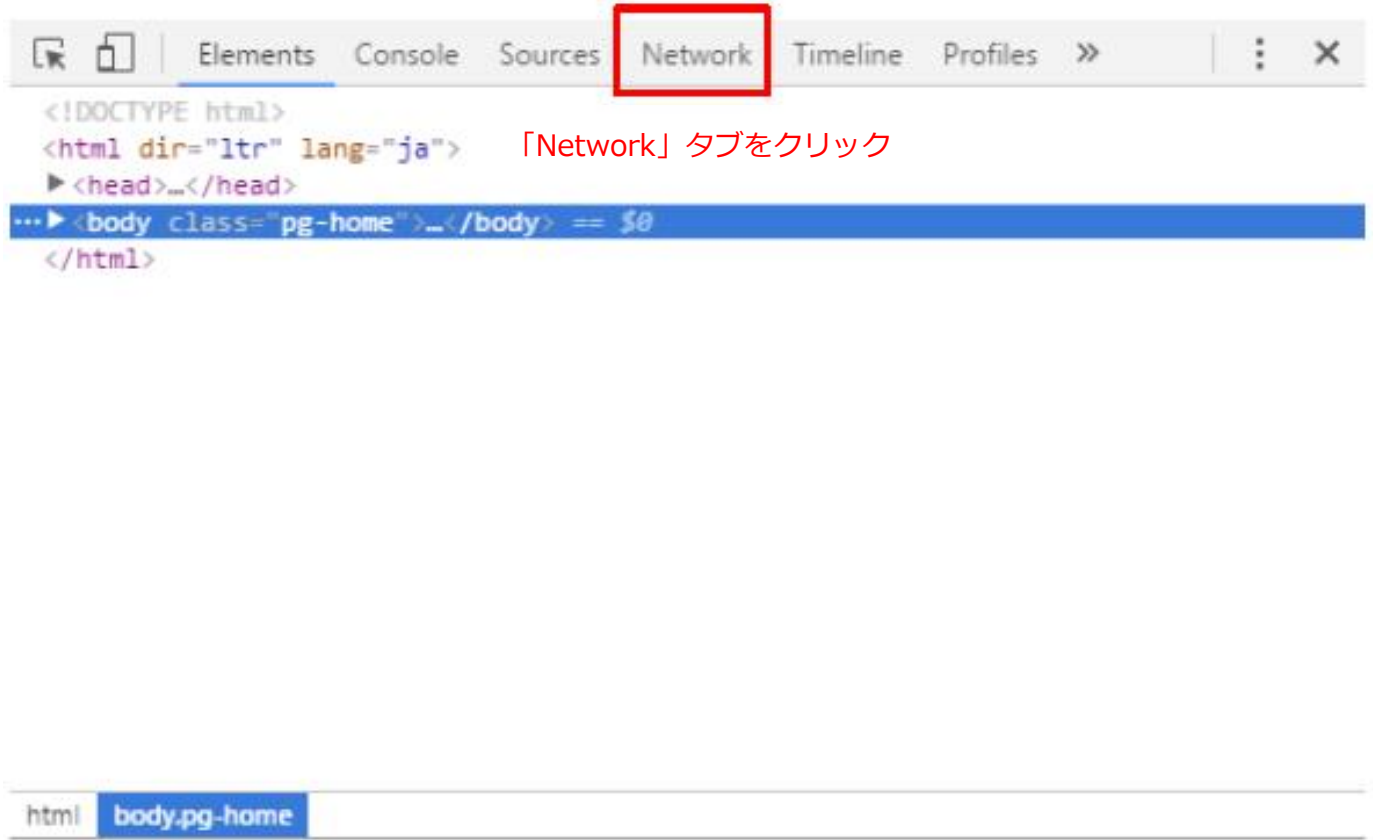
➤ ①「デベロッパーツール」を表示

以下の手順で「デベロッパーツール」を表示します。

1. Chrome を起動
2. ウィンドウ内の任意の場所を右クリック
3. 「要素を検証(N)」を選択



以下の「デベロッパーツール」が表示されたら、「**Network**」タブをクリックします。



➤ ②対象の URL を開く

次に、計測タグを設置したページを開きます。この時、「Network」タブ内に、読み込まれた HTML・CSS・JavaScript・画像ファイルなどの一覧が表示されていきます。

そのまま、ページが完全に読み込まれるのを待ちます。入口ページタグまたはコンバージョンタグが正しく設置されていると、この時点で `_webantenna.png` が読み込まれます。

次に、イベント計測用タグを設置している場合、ボタンのクリックや動画再生など、計測対象となるイベントを発生させます。イベント処理が正しく実装されていると、イベントが起こった時点で `_webantenna.png` が読み込まれます。

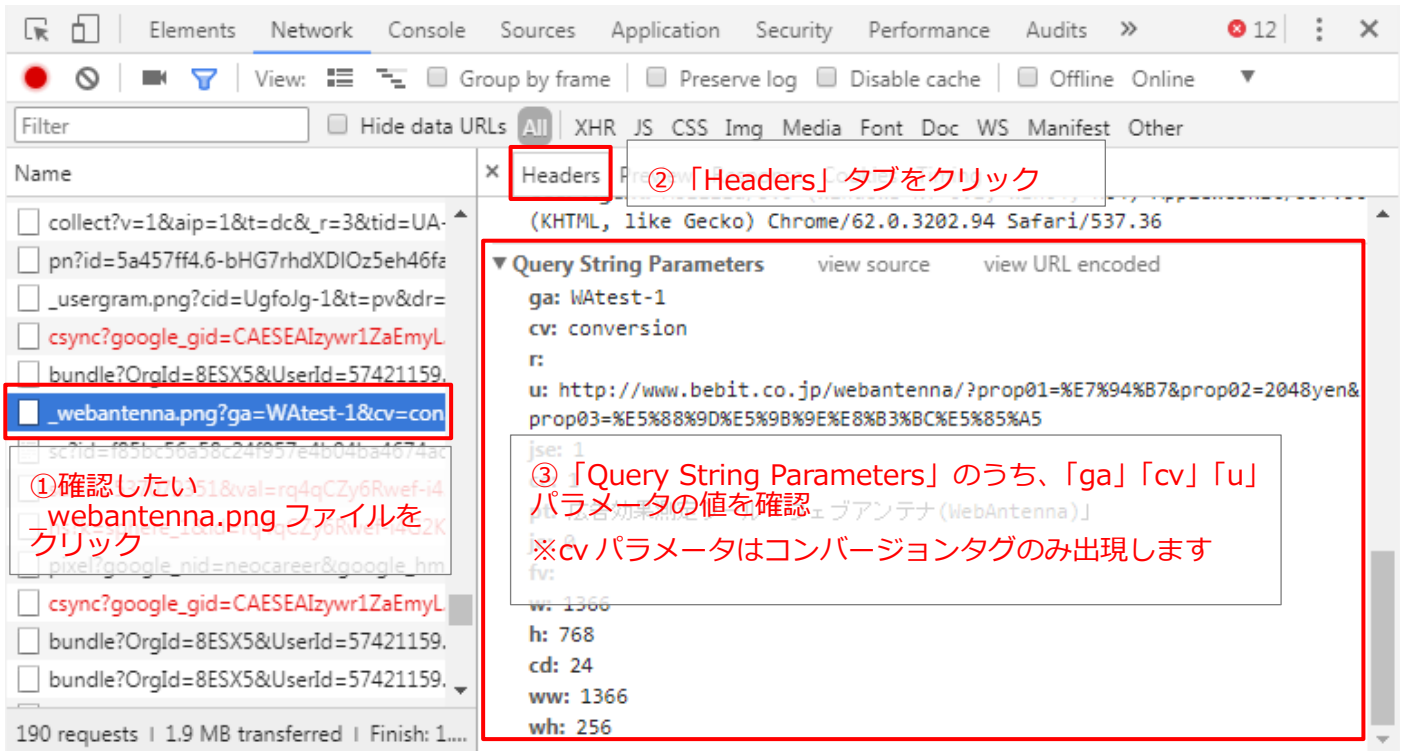
➤ ③ _webantenna.png の読み込みを確認

「Network」タブ内に「_webantenna.png」という画像ファイルが、動作した計測タグと同じ個数読み込まれていることを確認してください。

Name	Status	Type	Initiator	Size	Time	Waterfall
logo-black.svg	304	svg+...	(index)	179 B	23 ms	
sp-menu.png	200	png	(index)	(from...	16 ms	
base.css	200	style...	(index)	(from...	171 ...	
home-consulting-bnr.png	200	png	(index)	7.3 KB	185 ...	
sp-consulting-bnr.png	200	png	(index)	10.3 ...	190 ...	
home-usergram-bnr.png	200	png	(index)	4.4 KB	191 ...	
home-webantenna-bnr.png	200	png	(index)	3.8 KB	187 ...	
sp-webantenna-bnr.png	200	png	(index)	13.6 ...	220 ...	
webantenna.png	200	png	(index)	(from...	143 ...	
conversion.js	200	script	(index)	(from...	143 ...	
_webantenna.png?ga=WA...	200	png	Other	361 B	87 ms	
usergram.js	304	script	(index):323	162 B	220 ...	
analytics.js	200	script	(index):334	(from...	34 ms	
?random=1489559649392...	302	gif	Other	921 B	1.59 s	
ref-spr.png	200	png	jquery.js:3...	(from...	47 ms	
home-panel-fig.png	200	png	jquery.js:3...	129 ...	379 ...	
btn-arrow.svg	200	svg+...	jquery.js:3...	771 B	110 ...	
?random=1950270909&cv...	302	gif	https://ww...	1.2 KB	454 ...	
collect?v=1&_v=j49&a=26...	200	gif	Other	56 B	146 ...	
collect?v=1&_v=j49&a=26...	302	text/...	Other	678 B	257 ...	

webantenna.png が、動作した計測タグと
同数読み込まれていることを確認します。

次に、_webantenna.png ファイルのパラメータ(?以降の部分)が正しいことを確認します。パラメータは以下の手順で確認することができます。



前述の「_webantenna.png のパラメータは正しいか」(p.31)を参照し、正しいパラメータが取得されているか確認してください。

スマートフォンサイトの動作確認手順について

ここまで、PC 版のブラウザを使って、PC サイトの動作を確認する方法をご説明しました。スマートフォンサイトについても確認する内容は同様です。

ただし、以下のような、より高度なテクニックが必要となるため、本マニュアルでは説明の対象外とします。ご了承ください。

- ブラウザのユーザエージェントを変更し、スマートフォンサイトが表示されるようにする
- スマートフォン実機を PC にケーブルで接続し、リモートデバッグする

5. 計測タグが正しく動作しないときは

正しく動作していない場合に考えられる原因

計測タグが正しく動作していない場合、_webantenna.png ファイルが正しく読み込まれません。以下に挙げる原因をご確認の上、計測タグを正しく設置しなおしてください。

- ① _webantenna.png が読み込まれないか、想定より少ない場合 (p.44)
- ② _webantenna.png が想定より多く読み込まれる場合 (p.47)
- ③ _webantenna.png のパラメータが想定と異なる場合 (p.47)

_webantenna.png が読み込まれないか、想定より少ない場合

計測タグが正しく動作していれば、動作した 1 つの計測タグにつき 1 つの _webantenna.png ファイルが読み込まれます。

_webantenna.png ファイルが読み込まれないか、想定より少ない場合、以下の原因が考えられます。

➤ 動作確認手順のミス

動作確認手順に間違いがないことをご確認ください。

- ・ 確認対象とは異なるページを開いてしまっている
- ・ 公開用の Web サーバに、最新の HTML や JavaScript ファイルがアップロードされていない
- ・ (イベント計測用タグの場合) ボタンのクリックや動画再生など、計測タグが実行されるイベントを行っていない

➤ 計測タグの設置ミス

計測タグの設置方法に問題ないことをご確認ください。

- ページに計測タグを設置し忘れている
- `webantenna.js` ファイルの読み込みを省略している (p.19)
- (イベント計測用タグの場合) イベント発生時に計測用の関数を呼び出す処理を記述していない (`onclick` ハンドラなど)

特に、タグマネージャーをご利用の場合、以下のようなことがないかご注意ください。

- タグマネージャーの共通タグがページに設置されていない
- 計測タグを配信する URL の設定が誤っている
- 1 つのページに複数の計測タグを配信している

➤ JavaScript の実行エラー

JavaScript の実行エラーが発生していないかご確認ください。ブラウザの開発者向けツールを利用することで確認が可能です。

JavaScript の実行エラーが起こる代表的な原因は以下のとおりです。

- コンバージョン属性を計測するために実装した部分に、プログラム上のミスがある
- ボタンのクリックや動画再生など、イベントを計測するために実装した部分に、プログラム上のミスがある
- 計測タグを改変して設置している (p.18)

➤ 計測タグがもともと壊れてしまっていた

計測タグを他の方からメール・Word・PowerPoint ファイルなどで受け取った場合、一部の記号が置き換わってしまっている場合があります。そのような場合、計測タグは正しく動作しません。

特に、以下のようなことが起こっていないかご確認ください。

- 不要な改行や空白が入っている

```
<script type="text/javascript" src="//tr.webantenna.info/js/webantenna.js"></script>
```

- 一部の記号が二重になっている

```
<script type=""text/javascript"" src=""//tr.webantenna.info/js/webantenna.js""></script>
```

- 小文字が大文字に置き換わっている

```
Webantenna();
```

_webantenna.png が想定より多く読み込まれる場合

想定より多くの _webantenna.png ファイルが読み込まれる場合、以下の原因が考えられます。

- ページ内に余分な計測タグが設置されている
- テンプレートやタグマネージャーを利用し、設置対象ではないページに対しても、計測タグを配信してしまっている
- XHTML ページに、`<noscript>~</noscript>`部分を削除していない入口ページタグまたはコンバージョンタグが設置されている(p.16)
- (イベント計測用タグの場合) イベント処理にプログラム上のミスがあり、計測用の JavaScript 関数を過剰に呼び出している

_webantenna.png のパラメータが想定と異なる場合

_webantenna.png のパラメータが想定と異なる場合、誤った計測タグを設置していると考えられます。具体的には、以下のような場合が考えられます。

- 異なるページ用の計測タグを設置している
- 入口ページタグ・コンバージョンタグ・イベント計測用タグの種類を誤って設置している
- webantenna.js ファイルの読み込みを省略している(p.19)
- (イベント計測用タグの場合) イベント発生時に、誤った JavaScript の関数を呼び出している

特に、タグマネージャーをご利用の場合、以下のようなことがないかご注意ください。

- 計測タグを配信する URL の設定や、計測タグの種類が誤っている
- 1 つのページに複数の計測タグを配信している

など

ご連絡・お問合せ先

計測タグの設置方法で何かお困りの点がありましたら、以下のウェブアンテナサポート窓口までお問合せください。

ウェブアンテナサポート窓口

営業時間: 午前 10 時～午後 6 時
(土日・祝日・年末年始等除く)

Email: wa_support@bebit.com